

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに



逮捕案件のあった日、ある報道機関から校長のコメントを求める電話がありました。校長としての謝罪の言葉に続けて「心のケアをしているのに、報道される度に子どもの心に傷がついてしまう。報道を控えることはできないのか。」と話をしました。残念ですが、あと1回、県教育委員会の処分が決まった際にも報道があると思われます。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。



## 本校の不祥事案にかかると「現在の状況」について

2月7日（木）に開催した保護者説明会で、今後の対応として「6年2組の子どもたちの学びの場の整備」と「傷ついた子どもたちの心のケア」に取り組むことを話しました。前号で「緊急的な心のケアの実施状況」についてお伝えしましたが、その後については次のとおりです。

### ◇その1 「6年2組の子どもたちの学びの場の整備」について

昨日の文書でお知らせしましたが、長尾喜代子講師が6年2組担任として着任することとなりました。卒業まで残り19日ではありますが、長尾講師の力を借りて、子どもたちの手で「思い出に残る光り輝く19日間」にしてほしいと考えています。

#### ◇ 1組2組の合同授業を中心に、学力向上に努めます。

緊急的な措置として、2組の子どもたちは1組教室に移っていましたが、席替えもして現在は一体化しています。あえて2組教室に戻すよりもこのままの状態を続けることの方がより効果が上がると判断しました。合同授業の際には、長尾講師が補助的な役割を務めます。

→ 6年保護者会の際にご意見のあった「複数処置によるきめ細やかな指導」及び「適正な学力の評価とそれを踏まえた指導」が実現できるものと考えています。

#### ◇ 2組だけで過ごす機会もつくり、学級意識の高揚を図ります。

「2組はずっと一緒」と板書した子どもの思いにも応えたいと考えています。どのような機会があるかは今後考えていきます。なお、卒業式の2組の呼名は、担任として長尾講師が行う予定です。

### ◇その2 「傷ついた子どもたちの心のケア」について （前号以降の状況）

2月18日（月）にカウンセリングの希望調査を行いました。調査を受けてカウンセリングを行った2月22日（金）の実施状況は次のとおりです。

実施日	担当SC	実施児童数
2月22日（金）午後	市相馬SC	4年女子1名 6年女子1名
	市佐藤SC	2年男子2名 4年男子1名

※ 今回の希望調査では5名の申し込みがありました。全体的には落ち着いてきている様子を感じます。

### ◇その3 「着地点」について

「学校だより 第38号」にも書きましたが、保護者会で話題となった「着地点」は子どもにとっての「心の区切り」とらえています。

2月14日（木）福島警察署に行き土田講師から子どもたちへのメッセージを受け取ってきました。

2月15日（金）の帰りの会で、6年生へこのメッセージを伝えるとともに、罪を犯した人は教師として子どもの前には立てないことを話しました。そして、長尾講師が着任することを告げ、「笑顔」で卒業できるように頑張っていこう、と続けました。

このことをもって、子どもたちの「心の区切り（着地点）」となれば幸いです。

※ 日々の出来事は、「本校webページ」でお伝えしています。そちらもご覧ください。